



すくすく



夜になると虫の音が響き渡り、季節もすっかり秋らしくなりました。朝夕と気温が低く肌寒い日もありますので、衣服で調整をして体調を崩さないように心がけましょう。また、スポーツの秋、食欲の秋ということで体をたくさん動かし、栄養価の高い食材をたくさん食べて体力や免疫力を高めることで、強い体づくりを目指したいですね。

10月10日は目の愛護デー



ちゃんと見えているかな？

視力の発達にはタイムリミットが

赤ちゃんや就学前の子どもは、0.2程度の視力があれば、不便なく日常生活を送れるため、多くの保護者は子どもの視力不良や、片目の視力だけが弱いことに気づきにくいといわれています。しかし、視力が発達するのは6～8歳まで。その年齢まで見えにくい状態を放置しておく、眼鏡をかけても視力が出ない「弱視」になってしまいます。気になることがあれば3歳児健診を待たずに受診して、早期発見・早期治療をすることがとても重要です。

▶ 当てはまるものがあれば受診して！ ▶

<input type="checkbox"/> 物を見るとき、左右どちらかに頭を傾げる、顔を回す、あごを上げる(下げる)	<input type="checkbox"/> 片方の目(視線)が内側に寄っている	<input type="checkbox"/> 片方の目(視線)が外側に向いている
<input type="checkbox"/> 目を細めて見る	<input type="checkbox"/> 上目づかい(下目づかい)で物を見る	<input type="checkbox"/> 極端に近づいて見ようとする
<input type="checkbox"/> 屋外で異常にまぶしがる・いやがる	<input type="checkbox"/> まぶたの形(大きさ)に左右差がある	<input type="checkbox"/> 瞳の中央(奥の方)が白く光る

～すくすくハウスの一コマ～

白い紙をびりびり破って、ハロウィンのおばけを作りました。破ることが楽しくて小さなおばけになったり、最後まで慎重に破って細長いおばけになったり、個性豊かなおばけができあがりました。



☆予約システムがかわりました☆

新しいシステムを利用するには事前のアカウント作成が必要です。QRコードから「[くれいしゅアカウントの作成はこちら](#)」へお進みいただき、各種情報を登録してください。



※住所は番地まで入力してください。
※生年月日、フリガナ等に誤りがないか確認の上、登録をお願いいたします。



～感染症情報～つちだ小児科

先月末に突然気温がさがって秋らしくなりました。気温の変化に体が順応できず風邪をひいたり久しぶりに喘息発作をおこしたお子さんが多いです。感染症は手足口病、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、一部の保育所でA型インフルエンザが流行中です。

当院のインフルエンザワクチン接種は10月1日から始まっています。今年は例年以上にワクチン準備できましたので安心してご予約をお願いします。



インフルエンザ予約サイト

手足口病 先月は137名。手足口病は一旦ピークをすぎたようでしたが2度目の流行をむかえているようです。原因ウイルスは、コクサッキーA群・B群ウイルス、エコーウイルスなど複数あるので一度かかったから大丈夫という訳にはいきません。今年3回感染したお子さんもおられました。

ヘルパンギーナ 先月は12名。高熱のことが多いですが2～3日でさがります。コクサッキーA群・B群ウイルス、エコーウイルス、エンテロウイルスなどが病原ウイルスで、ポストン疹といって顔・体幹に小発赤疹を伴うこともあります。

胃腸炎 先月は45名。一部の保育園で流行があり今でも散見されています。

マイコプラズマ感染症 先月は21名。マイコプラズマという病原体によっておこる感染症です。気管支炎として治療を受けていたが良くならない場合に疑います。ほとんどが年齢2～14才のお子さんです。最近疑って検査すると結構な確率で陽性ですので実際はもっと多い可能性があります。

インフルエンザ 先月は12名、いずれもA型インフルエンザでした。坂井内のある保育園で流行がありましたが、今後感染が広がるかはまだ分かりません。

RSウイルス感染症 先月は12名。少数の保育園で小流行が続いています。症状は咳や鼻水、鼻閉など、かぜの症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな息になってきます。途中で肺炎や中耳炎になることもあります。特に6ヶ月未満の赤ちゃんに感染すると重症化しやすいです。

ヒトメタニューモウイルス感染症 先月は7名。福井市内で小流行があるみたいです。症状はRSウイルス感染症とよく似ていて区別は難しいです。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 先月は11名。子どもの場合、ほとんどが軽症で熱も1～2日、食欲も普通の場合が多いです。

溶連菌感染症 先月は8名。溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出ます。舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。1歳未満の子に感染するのはまれで、5～15歳の子どもが感染しやすいです。

アデノウイルス感染症 先月は2名。症状は高熱が4～5日続き、喉の痛みが強く、目も赤くなります(赤くならないこともあります)。さらに頭痛、吐気、腹痛、下痢を伴うこともあります。

水痘 先月は6名。森田地区、春江地区で感染者がでています。

おたふくかぜ 先月は発生なし。

つちだ小児科「アイチケット」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。